



表紙／木曽学特別講座「特別公開 知られざる木曽町の宝」(10月9日撮影)

祝 敬老 | 2P

閉校記念行事が行われました | 3P

補助金の見直しを行います Vol. 1 | 4~5P

町制施行20周年記念イベントが開催されました | 14~15P



広報きそまち
アプリで読むには
「マチイロ」

木曽町
公式LINEは
こちら

祝 敬老

9月15日は敬老の日。各地域では敬老会が行われ、三岳・開田地域は1会場で、福島・日義地域では区・組ごとで開催されました。また、対象となる今年度75歳以上の方へ記念品を贈呈しました。

敬老会対象者

- 【木曽福島】1,459名（男561名 女898名）
- 【日 義】 571名（男226名 女345名）
- 【開田高原】 451名（男191名 女260名）
- 【三 岳】 319名（男147名 女172名）

*敬老対象者は昭和26年4月1日以前に出生し、木曽町に住所登録されている方です。

長野県は平均寿命
女性4位 男性2位



女性
88.23年
(全国 87.6年)

平均
寿命

男性
82.68年
(全国 81.49年)

厚生労働省「令和2年都道府県別生命表」より

祝 米寿 おめでとうございます

今年は123名（福島60名・日義30名・開田14名・三岳19名）の方が米寿（昭和12年4月2日から昭和13年4月1日生まれの方）を迎えられました。

祝 100歳・ご長寿 おめでとうございます

今年100歳のお祝いを受けられた皆さんと、町内最高齢の方をご紹介します。

祝
長
寿

町内最高齢は**108歳！**
たまい
玉井よしえさん（福島）

『100歳 おめでとうございます』

- 原 きみえさん（新開）
- 藤原 や江さん（日義）
- 田村 さつさん（開田高原）
- 中谷 幸子さん（三岳）
- 清水よ志江さん（福島）
- 郡上しげ子さん（日義）

*対象となるのは昭和2年4月1日以前生まれであり、令和7年3月31日までに誕生日を迎える方です。



9月30日には、100歳になられた清水よ志江さんのお宅に、原町長が敬老訪問を行いました。清水さんに「最近の楽しみは何ですか？」と聞くと、「週に3回行くデイサービスで、同じテーブルになった人と会話をすることが楽しみ」と素敵なお笑顔で答えてくださいました。

閉校記念行事が行われました

9月27日、来年度閉校となる2つの中学校で、それぞれの閉校記念行事を行いました



日義中学校

午前中は、日義中学校の歴史を振り返った後、大工であり、登山者の方の荷物を背負って山を案内する“強力”もつとめる倉本 豊さんによる閉校記念講演会や、5月から児童・生徒と共に制作を進めていた倉本富士男さん制作の特大絵画の披露などが行われました。映像で振り返る懐かしい歴史の数々や、大人1人を軽々と背負ってしまう倉本豊さんの姿、また体育館の壁を埋めてしまいそうなほどの大きな絵画に、会場は大いに盛り上りました。

お昼は地域の方も食べられるクジラカレーなどの懐かしい給食を食べた後、閉校記念制作として、木曽郡建設労働組合青年部や村上工務店の皆さんとの力を借りながら、生徒会主催でオリジナルの時計の制作に取り組みました。

閉校への寂しさを会場全体で感じながらも、来校された皆さんの顔には、1日を通して笑顔があふれていました。



開田中学校

文化祭である白樺祭の中の地域交流企画として、児童、生徒、地域の方も一緒に、開田中学校に対する思いなどを書いた葉を制作しました。閉校に対する寂しさもありながら、コメントをみんなで書くことで、学校に対する感謝や世代ごとの思い出を語る機会になりました。



補助金の見直しを行います

木曽町が誕生し20年が経過しました。合併以降、町では旧町村単位で実施していた補助金を引き継ぎ、町独自の施策を推進するため新たな補助金も創設しましたが、今年度、現状の補助金の点検を実施し、一部見直しや、令和7年度をもって廃止する補助金を決定しましたので、数回に分けてお知らせいたします。

今回は、町民や事業者の皆様に関連する補助金について掲載しておりますが、各種団体への交付金や補助金についても見直しを行いました。今後、当該団体の役員会などの折に、内容についてご説明していきます。

①新設する補助金

(1) 高齢者等公共交通定期券購入補助金（10月1日から実施済み）

環境水道課 環境係 ☎ 22-3320

概 要	対象等
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2025年10月より木曽地域交通再編されたためバス料金が改正された。現状において、満65歳以上の高齢者等を対象とした町民の幹線定期券購入金額が、料金改正とともに増額となつたため、その差額分に対して補助金を交付し、従来との整合性を確保する。 ▶ バス再編における200円区間定期料金変更額 ※1ヶ月定期：800円 → 2,400円 ※3ヶ月定期：2,400円 → 5,400円 ※6ヶ月定期：4,800円 → 7,200円 ●バス運営が、10月より木曽郡全体で実施されるため新たに料金区間（200円・400円・600円）が新設された。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 年齢満65歳以上の高齢者 ▶ 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持する者 ▶ 特定疾患治療研究事業及び先天性凝固因子障害等治療研究事業の対象となる難病患者に登録されている者 ▶ 障害年金受給者 ▶ 生活保護法の規定による保護を受けている者 ◎バス再編における定期料金の差額補助（200円区間の場合は、下記の差額を補助する。） <ul style="list-style-type: none"> 1ヶ月定期：1,600円の補助 3ヶ月定期：3,000円の補助 6ヶ月定期：2,400円の補助 ※400円区間・600円区間も別にあり。

②令和8年度から見直す補助金（一部令和7年度改正済み）

(1) コミュニティ施設整備事業補助金

地域の公民館（集会所）の修繕工事に対する補助金を交付する。

総務課 管財係 ☎ 22-4280

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 施設当たりの事業費が新設にあっては100万円以上 ▶ 増改築・改良にあっては50万円以上のもの ▶ 補助率1/2以内 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 50万円以上の事業が対象 ▶ 補助の上限額100万円 ▶ 補助率1/2以内

(2) 空家住宅活用事業補助金

空家の活用をする個人・企業等に対し、購入及び改修に要する経費を補助する。

町民課 住宅係 ☎ 22-4281

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 空家片付け事業補助率1/2 ▶ 空家改修事業補助率1/2以内（子育て加算・移住加算あり） ▶ 補助金（加算分含む）限度額120万円 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 加算 移住（20万円）、子育て（5万円／1人） ▶ 空家購入および改修費の1/2以内を補助（限度額80万円）※片付け事業補助金は継続

(3) 企業版空き家活用補助金

事業の創出と地域経済活性化などの増加を図るため、空き家を活用する企業等を対象とした補助金を交付する。

町民課 住宅係 ☎ 22-4281

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 施設取得費補助対象経費を合計した額の1/2に相当する額以内で上限額を80万円 ▶ 施設整備費 ▶ 通信環境整備費 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ (2)に統合

(4) 定住促進補助金交付要綱

町内に住宅を取得した者に対しての定住促進としての補助金を交付する。

町民課 住宅係 ☎ 22-4281

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 住宅の延床面積を3.3平方メートルで除して小数点以下を切り捨てた実数に7,500円を乗じて得た額（上限額を80万円）併用住宅等制限あり ▶ 子育て加算及び移住加算あり 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ (2)に統合

(5) 空き家解体工事補助金

町民の安全安心な暮らしと環境形成を促進するため、空き家の解体に要する経費に対する補助金を交付する。

町民課 住宅係 ☎ 22-4281

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
▶ 対象経費の1/2を乗じ得た額 ▶ 老朽危険空き家については100万円、その他の空き家については30万円が限度	▶ 令和7年度より住民票が無い別荘等の解体は、対象外

(6) まちづくり活動推進事業補助金

住民が主体となって進めるまちづくり活動を支援し、活力ある町を創造するための取組に対して補助金を交付する。

企画財政課 企画係 ☎ 22-4287

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
▶ 地区活性化事業（経費の2/3以内 上限30万円） 地区の活性化に効果があると認められる取組 ▶ 美しい村運動推進事業（上限30万円） 「日本で最も美しい村」運動の推進に効果があると認められる取組 ▶ 一般事業（上限50万円） 特に町全体の活性化に効果があると認められる取組	▶ 地域活性化と景観形成に変更し、一般事業は廃止。景観形成事業は自主的に観光施設等を整備し、景観を向上させる取組に限る。（区内等の一斎清掃等は対象外） ・ 地域活性化（2/3 上限30万円） ・ 景観形成（10/10 上限30万円）

(7) 有害鳥獣防除対策補助金

有害鳥獣による被害を防止するため、農業従事者及び自治会が行う防除対策に対し、補助金を交付する。

建設農林課 農政係 ☎ 22-4286

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
▶ 防除施設、威嚇用物品、煙火取扱講習費用及び手帳交付手数料、緩衝帯整備、追払活動に対して 補助率 個人1/2・団体2/5 上限5万円 ▶ 補助金は円単位まで支給	▶ 補助金は、千円未満を切り捨てる。 ▶ 場所が違えば回数制限は、設けない。 ▶ 防除施設は、補助下限金額を1万円に設定 ▶ 自治会による追い払い活動は、補助対象外

(8) 農業機械及び農業施設補助金

農業生産の向上等を目的として、農業機械や農業施設を農業者が組織する農業生産団体等や個人で農業を営む認定農業者等が購入又は新設しようとする場合に、補助金を交付する。

建設農林課 農政係 ☎ 22-4286

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
▶ 補助金の対象事業費は、50万円以上 ▶ 農業用機械購入、農業用施設新設又は改修 農産物加工施設新設又は改修等 ▶ 補助率2/3 限度額120万円	▶ 農業法人、営農団体、認定農業者、地域計画に記載された担い手を含む3名以上のグループを対象とする。 ▶ 地域計画中農業支援サービス事業者に位置づけられた営農組合・農業法人等への機械導入補助補助率2/3 補助額300万円上限

(9) 農業担い手確保育成支援補助金

農業後継者の担い手不足に対して、新規就農者及び農業後継者に対し農業担い手確保育成支援補助金を交付する。

建設農林課 農政係 ☎ 22-4286

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
▶ 個人経営体又は農業後継者にあっては、就農後最長5年間交付し、就農した初年度は、年間50万円、2年目以降は、年間30万円とする。 ▶ 農業法人就農者にあっては、就農してから3年以内に一度限りとし、10万円とする。	▶ 個人経営体又は農業後継者にあっては、期間を短縮し自立を促すため、1年目50万円、2～5年目30万円を1年50万円、3年総額150万円に変更する。

(10) 特產品振興事業補助金

特產品の開発や地域資源を活用した6次産業化の支援を図るために、町内で農林水産業の振興活動に取り組む団体及び個人が行う特產品振興に資する事業に対し補助金を交付する。

建設農林課 農政係 ☎ 22-4286

見直し前（変更前）	見直し後（変更後）
▶ 町内の農林水産物を用いた6次産業化に関する新規事業（補助率1/2で50万円を限度） ▶ 新たな農林水産物の特產品開発事業（補助率10/10で50万円を限度 1者1回のみ） ▶ 町内の農林水産物又は農林水産物を用いた加工品の販路開拓のための商談会及び展示会への出店（補助率2/3で30万円を限度 年度1回）	▶ 6次産業化に関する新規事業は、廃止 ▶ 特產品開発事業は、2/3で50万円を限度に変更 ▶ 販路開拓のための商談会及び展示会への出店は、中小企業等販路拡大支援事業補助金と統合する。



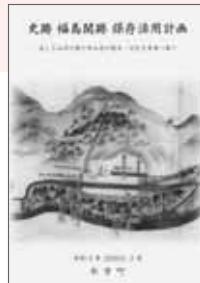
山河の関跡を未来へ

第八回

保存活用の大綱と基本方針

木曽町を代表する文化財「史跡福島関跡」には、どのような価値があるのか。この先どのように保存・活用していくのか——本年完成した整備基本計画とともに、連載でお伝えします。

令和5年3月に策定を完了した「保存活用計画」の大綱では、「美しき山河の関と中山道の歴史・文化を未来へ繋ぐ」をスローガンに、史跡を適切に保存しながら未来へ継承していくための基本方針を定めました。この方針に基づき、「保存・管理」「活用」「整備」を柱とした具体的なアクションに取り組んでいくことを明確にしています。



◆ 基本方針

- (1) 史跡の本質的価値と構成する諸要素をさらに明確化し、江戸幕府の交通政策史上における貴重な史跡として後世へ適切に保存・継承していく。そのために、未指定地や周辺の歴史文化遺産との連携を考えながら、史料調査や発掘調査などを継続する。
- (2) ふるさとに誇りを感じることができる拠り所として、また、江戸時代の木曽路を体感できる魅力ある場所として、その価値を積極的に情報発信する。
- (3) 歴史的・文化的価値を踏まえた活用を推進できるよう、来訪者の安全や周辺住民の快適な生活環境を確保しながらも、本質的価値を損なわない適切な整備を行う。
- (4) 保存活用計画を適切かつ確実に実行していくため、史料の収集、研究、展示に対応できる人材の確保・育成に努め、木曽町民をはじめ観光・商工団体や学校教育などとの連携を図りながら持続可能な管理・運営体制を構築する。
- (5) 保存活用計画の施策を実行し、定期的に経過観察しつつ進捗状況に応じた見直しを行う。

いのちをつなぐ大切な水

ウォーターニュース きそまち

No.01

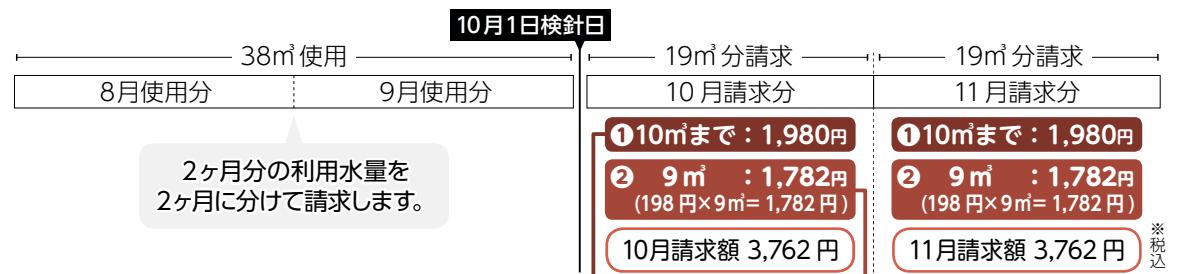
水道料金編 水道料金のしくみと計算方法

皆さんにとって身近な水道。蛇口をひねれば当たり前に使える水道について、料金・給水施設・運営等、これからシリーズでわかりやすく解説します。

水道事業は地方公営企業法に基づき、独立採算制をとっています。事業の経営に必要な経費は、皆様からいただいている水道料金でまかなっています。水道料金は、「基本料金」と使用水量に応じた「従量料金」の合計額に、消費税を加えた額になります。

木曽町の水道料金は一部地域を除き2ヶ月に1度検針を行っているため、料金請求は2ヶ月遅れとなります。

(例) 口径13mmのメーターを設置（一般家庭の水道管口径は13mm）のご家庭・10月1日検針水量38m³（2ヶ月分の使用水量）の場合



①基本料金	②従量料金 (1m ³ 毎)			
	1~10m ³	11~30m ³	31~50m ³	51m ³ 以上
1,980円	198円	220円	242円	264円

次号は人口減少と水道料金についてお伝えします。



ABMORI(エビモリ)を開催しました

9月21日、おんたけロープウェイ近くで植樹活動「ABMORI in きそまち」のキックオフイベントを開催しました。ABMORIは歌舞伎俳優の市川團十郎（旧名：海老蔵）さんが「森林整備（森づくり）による社会貢献をしたい」と長野県に相談し、平成26年から山ノ内町で植樹活動を続けてきましたが、10年が経過し育て守る活動にシフトしたことから、次の開催地として木曽町が選ばれました。当日は、團十郎さん、ばたんさん、新之助さんが訪れ、小学生と一緒にカラマツの苗100本を植えたほか、育苗のための種まきをしました。来年から本格的な植樹活動が始まります。一般参加の募集も行いますので、皆さまの参加をお待ちしています。



【お問い合わせ先】 建設農林課 木の産業づくり推進室 ☎ 22-4286



御嶽山噴火災害犠牲者追悼式を行いました



御嶽山の噴火から11年目となった9月27日、御嶽山噴火災害犠牲者の慰靈碑がある松原スポーツ公園（王滝村）で、御嶽山噴火災害犠牲者追悼式が木曽町と王滝村の主催で執り行われました。今年は例年に無い晴天で、御嶽山をくっきりと見ることができました。

昨年に引き続き、ご遺族の方や自治体関係者など多くの来賓が出席し、噴火時刻である11時52分に参列者全員で黙祷、また献花台に花を供え、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしました。また、御嶽山に登り、頂上で黙祷を捧げられた方もいました。



きそバスが出発しました

木曽地域の公共交通再編により、今まで広報きそまち「未来につなぐ 私たちの公共交通」のコーナーでお知らせをしてきた新たな広域幹線バス（愛称：きそバス）の運行が、10月1日から始まりました。

全国的なドライバー不足の問題に端を発し、令和3年度より長野県及び木曽郡6町村、交通事業者及び木曽広域連合が中心となって木曽地域公共交通活性化協議会が設立され、持続可能で親しみのある公共交通となるよう協議が重ねられてきました。

当日の午前中には、運行開始に先立ち、おんたけ交通株式会社の本社にて出発式典が行われ、テープカットの後、木曽地域を代表する木曽節が流れる中「きそバス」のロゴを掲げたバスが出発していきました。



地域の未来を考える まちづくりワークショップを開催しました

10月2日に三岳小学校、3日に開田小学校において、“持続可能な地域社会総合研究所”の藤山 浩所長を講師に、レゴブロックを使ったワークショップを開催しました。今回のワークショップは、これから地域を担う小学生にまちづくりへの関心を促すとともに、将来の木曽町を創造して自らまちづくりを考える機会をつくることを目的としています。

「地域の未来広場をつくろう」というテーマで 食・農業・子育て・福祉医療・エネルギー・交通 の各分野に沿った広場を完成させました。

食 … イワナのハンバーグや農場と一体化した食堂・ロボットが作るレストラン

農業 … 自動で草刈りや水やりなどの省力化、農作物集荷・出荷の地域集約化

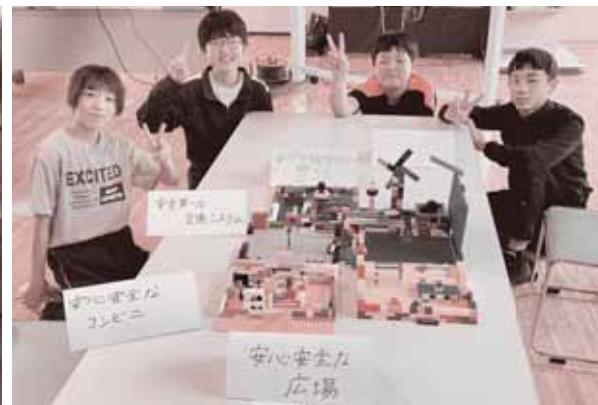
福祉医療 … 出産ができる病院・バリアフリーな広場

エネルギー … 道路での太陽光発電や、雷・雪をエネルギーにし、農業で活用 など

みんなで考えた
各テーマの理想

それぞれのアイデアにより、未来に実現したい理想の広場を思い思いに制作しました。

子どもたちからは、「自分たちでつくったまちが実現したらいいな」「人のためになる、運転などの自動化がされたらいい」などの感想がありました。



令和7年度長野県地域発元気づくり支援金を活用しました

【お問い合わせ先】企画財政課 ☎22-4287

新しい地域おこし協力隊員をご紹介します

うちかわ しょうご
内川 翔吾 隊員

主な業務 木曽町地域資源研究所の管理運営・乳酸菌を活用した商品開発・発酵食品分析など



この度、地域おこし協力隊として着任いたしました、内川翔吾と申します。これまで長野県内の食品メーカーで、研究企画開発の仕事に携わってまいりました。

ご縁をいただき、地域資源研究所にて「すんきから分離された乳酸菌」や「木曽由来の微生物の活用法」に関する基礎研究を行っていきます。大学時代から微生物について学び、木曽のすんきに関わる機会も多くありました。

自然豊かな木曽地域はとても魅力的な場所だと感じています。この地域に少しでも貢献できるよう、精一杯努めてまいります。

// おじゃまします町長室 //



町長コラム

私の日頃の思いや感じたことをコラムとして毎月載せていただきました。今回が最後となります。12年間ご愛読いただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、私は苦手と思っていることが2つあります。その1つが、このような『文章を書くこと』です。格言など、勉強を怠ってきましたので自然とは出てきません。でもなんとかわかつてもらえるようにと頭をひねったつもりです。最初のうちは妻の感想なども聞きつつ、振り返ればよくも12年間投稿を続けることができたものです。「面白いよ」とのお褒めの言葉もいただきましたが、恐縮至極です。

もう1つは、『すすんで人との会話に入っていくこと』です。人見知りのような引っ越し思案なところがあり、「この人とは何を話したら良いのだろう」とつい構えてしまいます。長年付き合っている人とはそんなこと思いもしませんが、特に初めての人であったり、年に1度会うような人など、職員との飲み会でもお酌に回って話し込むことを苦手と思ってしまっています。ユーモアがあつたり話題が豊富であつたり、そんな人をうら

長い間ご愛読いただき
ありがとうございました

やましく思っています。こんな苦手意識があるっても、なんとかこの任務を長きにわたって務め終えようとしていますので、他にもっと良いところがあったのかなと自己納得させています。

この町に住み続けられるよう、毎日を安心して、できる限り楽しく過ごせる、家庭や地域であってほしいとの思いで町政に取り組んで参りました。ご協力・ご支援もたくさんいただきました。心から感謝を申し上げます。職を離れてからは、地域の一員としてこれからもよろしくお願ひいたします。

12年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



お知らせ



宝くじの助成金で整備しました

木曽町消防団では、公益財団法人長野県市町村振興協会が実施している地域活動助成事業を活用し、「救命胴衣」150着を各分団・本部に整備しました。

消防や水防、捜索活動など河川沿いで活動することが多い消防団員が着用することで安全性の向上が期待できます。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に行われています。





12月は
国民健康保険税7期の納付月です。
忘れずお早めに納付ください。

緊急当番医連絡先

7日(日)	王滝村診療所 (王滝村)	☎ 48-2731
14日(日)	原内科医院 (福島)	☎ 22-2678
21日(日)	芦沢医院 (上松町)	☎ 52-2018
28日(日)	古根医院 (大桑村)	☎ 55-1188
29日(月)	田澤医院 (開田高原)	☎ 44-2008
30日(火)	大脇医院 (上松町)	☎ 52-2023
31日(水)	みたけ診療所 (三岳)	☎ 46-2266

緊急当番歯科医連絡先

14日(日)	あすなろ歯科医院 (福島)	☎ 22-2221
28日(日)	古谷歯科医院 (大桑村)	☎ 55-2760
31日(水)	水野歯科医院 (南木曽町)	☎ 57-3050

※掲載している日時や会場などの情報は変更、中止になる可能性があります。
急な変更、中止の際は定時放送やホームページでお知らせします。

主なイベント

※ : 参加費用が必要です

日付	時間	内 容	場 所
19日(金)	13:30~ 15:00	木曽学講座 「尾張藩林政の展開と山村家 ~享保林政改革を中心に~」(仮)	文化交流センター
21日(日)	8:00~	木曽町民卓球大会	総合トレーニング センター

相談はこちらへ

各種相談 ※法律相談には予約が必要です。

- 期 日: 12月17日(水)
- 時 間: 13:00~16:00
- 会 場: 木曽郡民会館
- 相談内容: • 法律相談 • 心配ごと相談 • 行政相談 • 人権相談
- 【予約・お問い合わせ先】
木曽町社会福祉協議会 ☎ 26-1116

年金相談 ※相談には予約が必要です。

- 期 日: 12月11日(木)
- 時 間: 10:00~12:00 13:00~15:00
- 会 場: 木曽町役場 会議棟 第2会議室
- 【お問い合わせ先】
松本年金事務所 お客様相談室 ☎ 0263-25-8100
自動音声案内「1」の次に「2」を選択してください。



保健の掲示板



※急な変更、中止の際は定時放送や母子手帳アプリ「母子モ」でお知らせします。

子育て支援センターの広場

※広場は午前10時から11時までの予定です。

広 場 (対象)	期 日	内 容
ベビーの広場 (3ヶ月～1歳)	8日(月)	ミニミニクリスマス会・子育て談話
てのひらぱーく (1歳になったお子さん～) (R5.4.1生まれのお子さん)	18日(木)	クリスマス会 ※希望日をお選びください
	19日(金)	
子育て講座	11日(木)	ラボの運動遊び * 2歳になったお子さん～R5.4.1生まれのお子さん対象
親子で絵本の時間 (3ヶ月～R5.4.1生まれのお子さん)	3日(水)	木曽町図書館へ行こう

【お問い合わせ先】 子育て支援センターてのひら (木曽こども園併設) ☎ 22-3301

開放日 (入学前の赤ちゃんを連れて自由に遊ばせることができます)

施設名	場 所	時間等	連絡先
あそびのひろば	木曽福島保健センター 1階	毎週月～金曜日 (祝日除く) 9:00～12:00/ 13:00～16:00	☎ 22-2232

※詳細は母子モでご確認ください。

乳幼児健診

健 診	期 日	会 場
4ヶ月児健診	10日(水)	本庁はぐくみひろば
離乳食教室		
7・10ヶ月児健診	17日(水)	木曽福島保健センター
1歳児健診		
3ヶ月児教室	18日(木)	本庁はぐくみひろば
2歳児教室	19日(金)	木曽福島保健センター

【お問い合わせ先】 保健福祉課 ☎ 22-4035

※会場が変更になる場合があります。
詳細は、個別通知をご覧ください。

いきいき運動教室

65歳以上の方を対象に、筋力アップ、ストレッチ体操等を行います。人生100年時代を生き抜くには、健康な身体づくりが大切です。ご近所お誘い合わせてご参加ください。

【参加費】 200円

300円 (通うのに支援が必要な方)

【持ち物】 タオル・飲み物
上履き (開田高原末川研修センター・総合トレーニングセンター)

【お問い合わせ先】

地域包括支援センター ☎ 22-4038

期 日	会 場	時 間
1日(月)	木曽町文化交流センター	13:30 から 約1時間
10日(水)	総合トレーニングセンター	
18日(木)	開田高原末川研修センター	
22日(月)	三岳交流促進センター	

介護保険制度、認知症、介護予防、成年後見制度など高齢者に関するご相談は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 地域包括支援センター (保健福祉課内)

受付時間 平日 8:30～17:15 ☎ 22-4038



Shoku-iku

毎月19日は
食育の日

『知っている』から 『実践している』へ

月に一度は
食のことを考え
家族のことを想い
健康につながる実践へ

ぼく
の大好物

しばた らい
芝田 楽維くん (福島)

食育マーク

食育リレーコラム きしょくまんめん

喜食満面

Vol.115

古畠 沙耶 さんからのリレー

『我が家の食育』 上垣外 佑さん (日義地区)

我が家 4歳の娘はごはんもおやつも大好きで、小さい頃からよく食べる子でした。ですが、野菜が苦手なようで、なかでもピーマン・ほうれんそなどの緑のものや、ナス・カボチャなどの柔らかいものは食卓に並べても食べません。冷蔵庫からナスを取り出したりだけで「ナス食べない！」と断固拒否。少しは野菜も食べてほしい…と、ママの試行錯誤の結果、キーマカレーや春雨スープに入れると食べてくれます。こども園では頑張って食べているそうで「今日はピーマン食べたよ！」と得意げにお話ししてくれます。

また、娘はおままごとやごっこ遊びが好きなので、お手伝いをする中で食に興味を持ってもらおうと働きかけています。クッキーの生地を混ぜて型抜きしたり、バナナをこども用包丁で切ったりと簡単なことから参加してもらっています。やはり自分で作るとよく食べてくれます。我が家はキャンプによく行くので、次のキャンプでハンバーガーやホットドッグなどを作つてみたいと考えています。

元気の源はやっぱり食べることだと思います。よく食べ、よく遊びを大切に過ごしていきたいと思います。

*お子さんが好きな遊びやキャンプなど、ご家族の趣味の延長で食育を実践する…とてもいいアイディアですね！ぜひご家族揃って、楽しみながら食育を続けてください。



食に関するアレコレを発信!! 日々の“食”にちょっと目を向けて食の話題で食卓を彩ろう♪♪

木曾養護学校 給食週間の取り組み ~Zoomを使った食育~

木曾養護学校では、『生涯にわたり楽しく食事ができる児童・生徒』を食育の重点目標として掲げ、普段から食べることに興味関心を持ち、皆で食事をする時間を楽しみにして欲しいと願っています。

今年度の給食週間では、『栄養～食べ物のひみつ～』をテーマに各学部の段階に応じた学習を行いました。子どもたちは、食べ物を『赤・黄・緑』の3色に分ける食育授業で、食品の働きを知ることや、『給食室をのぞいちゃおう！』という企画で、調理の様子をライブ配信で見学し、クイズに挑戦しました。

『どうやって私たちの給食を作っているのかな？』『大きなお鍋で給食を作っているんだね。』『バナナの皮をあんなにむくんだあ。』と初めは普段見られない調理の様子に興味津々でしたが、次第に『にんじん苦手だけど、ちょっと食べてみようかな…。』『全部食べたら、かっこいいよね。』と、感謝の気持ちや気付きが生まれ、食への関心の高まりを感じました。

給食週間での経験を毎日の給食時間につなげ、さらに豊かな食経験を積んでいって欲しいと思います。



きそまち 図書館 だより

図書館に
遊びに行こう!



図書館への お問い合わせ

木曽町図書館
〒397-0001
木曽町福島5129
(文化交流センター内)
TEL 23-2030
FAX 24-0082

まちとしょでつくろう！ 消しゴムはんこワークショップ

消しゴムはんこを作り、クリスマスカードに仕上げます。

日 時 12月7日(日) 13:30~15:00

場 所 木曽町文化交流センター2階
大会議室

参加費 無料

参加対象 小中学生とその保護者 ※小学校3年生以下は保護者の同伴必須

定 員 8名 **持ち物** 彫刻刀（お持ちの方）

申込受付 現在受付中 ※定員になり次第締め切ります



木曽町中学校学習展

11月26日(水)から12月22日(月)まで図書館内フリースペースにて、木曽町中学校の生徒さんによる総合学習の展示を行います。中学生の学習の成果をぜひご覧ください。



雑誌の付録プレゼント会

(今年から1日のみ開催)

12月13日(土) 10:00から雑誌の付録をプレゼントします。プレゼント会当日の貸出レシートご提示で、おひとり1回くじが引けます。付録がなくなり次第終了します。



11月・12月のおはなし会

日 に ち	時 間	内 容
11月 15日(土)	11:00～11:15	「あたたかいおはなし」というテーマでまちとしょスタッフによるおはなし会を行います。
12月 6日(土)	11:00～11:15	ボランティア「4ピース+」さんによるおはなし会を行います。

▶開館時間

平日 10:00～18:00
土日・祝日 10:00～17:00

▶休館日

・毎週火曜日（祝日の場合は開館）

・祝日の翌日（平日）

・毎月最終木曜日

・11月3日(月)、24日(月)は祝日開館します。

・12月28日(日)～1月4日(日)は年末年始のため休館となります。

11
月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12
月

日	月	火	水	木	金	土
		2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※色の濃い日がお休みです。

calendar

町制施行20周年

記念イベントが開催されました

6月に開催された木曽学特別講座「鈴木良雄さん ふるさとを語る・ふるさとを奏でる」とあわせて予定されていた合計5つのイベントが開催されました

9月21日開催

木曽町合併20周年 健康フェスティバル

脳年齢や血管年齢測定、骨密度や塩分味覚チェック、がんクイズラリー、チェアエクササイズなどの体験コーナーのほか、介護相談、減塩豚汁の試食会、出張おもちゃ美術館、ロビーコンサートなどの多くの催しがあり、大勢の方が訪れ健康について考える機会となりました。

午後は、テレビなどでもご活躍の姫野友美医師による健康づくり講演会が行われ、日々の食事が心と体の健康にも大きく影響していることを教えていただきました。



10月4日開催

木曽町20周年記念事業 大学応援団フェスタ in 木曽町

関東の8校の大学応援団が集い、各校の校歌に合わせた応援などの特色ある演舞や、応援歌メドレーなど会場全体で盛り上がる演舞が披露され、たくさんの元気・笑顔・エールを木曽町に送っていました。

また、応援団演舞の前には、町内の4つの太鼓団体や木曽町消防団音楽隊・ラッパ隊による演奏も披露され、力強い音色が会場いっぱいに響きました。



映像で当日の様子をご覧いただけます



応援団演舞

太鼓、消防団の演奏

(提供：大学応援団フェスタ実行委員会)

大学応援団フェスタ実行委員長を務めた
駒澤大学 柳 柚子さんと東洋大学 佐藤彩花さん

【10月9日開催】木曽学特別講座「特別公開 知られざる木曽町の宝」

普段は非公開の県・町指定文化財をはじめ、近年寄贈・発見された非公開の文化財を間近で見ていただきました。文化交流センターにおいてギャラリートークを行い、その後、福島の水無神社と、三岳の日向阿弥陀堂へ移動し長野県宝の見学をしました。26名の皆さんにご参加いただき、「本物を見ることができて良かった」「時間が足りなかつた、また参加したい」という声が多く聞かれました。



文化交流センター「文人書画屏風」など



水無神社 天井に飾られた「水無神社祭絵馬」など

日向阿弥陀堂「阿弥陀如来坐像」

【10月13日開催】木曽学特別講座「ヴァイオリン木曽号コンサート」

世界的なヴァイオリン制作者であり、木曽町の名誉町民でもある陳 昌鉉さん（ちん じょうげん）に寄贈していただいたヴァイオリン「木曽号」を使用したコンサートが今年も開かれ、多くの方が来場されました。曲名は知らなかったとしても1度は耳にしたことのある音楽が多く披露され、一緒に体を揺らしながら演奏を聴かれる方もいらっしゃいました。

今年は、演奏者の藤田さんが所有する陳さん製作の楽器による演奏もあり、ヴァイオリン2重奏、ヴィオラ、ピアノとの組み合わせなど、1度のコンサートで3つの異なる響きを聞くことができ、それぞれの良さや違いを楽しみました。コンサートが終わった後には、近くで木曽号や他の陳さんの作品を見たり、演奏をしてくださった藤田さん夫妻に木曽号について教えていただく時間もありました。



演奏していただいた藤田将也さん・若菜さん夫妻





広報

さとまち11

No.234

2025年11月10日発行

[広報さとまち]は環境に優しい再生紙と
ペジタブルインクを使用しています。

photo report

全力で
駆け抜けろ！10月19日
第12回木曽町駅伝大会

優勝

一般の部

『SASUKE 部』[54分44秒]

森下佳祐、田口獅音、古坂悠貴、
 相馬巧太郎、田口翔斗、相馬拓実



小学生の部

『木曽町Jr陸上部Aチーム』

[1時間08分07秒]

松原 恵、水野功士郎、田村 伸、
 竹下想太、柴山篤人、水野寛之



(敬称略) ※選手名は出走順です

木曽町民記者
連載コーナー町民記者
通信

「慰靈式へ三岳小5・6年生が灯籠制作」

小松 町民記者

御嶽山噴火災害から11年目の9月27日の夕刻、三岳の太陽の丘公園で三岳地域自治協議会主催の慰靈式が行われました。犠牲者・行方不明者63名と同数のろうそくや竹灯籠、三岳小5・6年生が制作した灯籠が一斉にともされ、御嶽山に向かって祈りをささげました。

慰靈式に先立って9月11日、「みたけ未来創造塾」の奥牧頼彦さんと山田眞教さんから、御嶽山噴火のこと、灯籠の意味、灯籠の作り方などについて説明していただきました。子どもたちは「亡くなった方への供養になるように」と、色紙を使ってそれぞれ思いを込めた灯籠を完成させました。噴火災害を風化させない、とても大切な取り組みと感銘を受けました。



木曽町の総人口 9,674人（10月1日現在）世帯数 4,732世帯 男性 4,690人 女性 4,984人

木曽町インフォメーション 木曽町役場 本庁 22-3000 日義支所 26-2301 開田支所 42-3331 三岳支所 46-2001